

# 元気いっぱい！大きな稚魚を孵化させよう！！ ～ 事前準備編 ～

はじめに・・・

今年で開催9回目を迎える「帷子川に鮭の稚魚を放流する会」ですが、事務局の初音丘幼稚園では毎年6センチから7センチ程の大きな稚魚の孵化を成功させています。毎年、7割～8割の稚魚を孵化させており、全滅した年は一度もありません。

そこで、初音丘幼稚園でこれまで培ったノウハウをご紹介します。ポイントをきちんと守れば、必ず成功します。決して難しくないのです、一匹でも多くの卵が元気に育つように頑張りましょう！！

【事務局】初音丘学園 理事長 渡邊啓一

☆事務局より卵が届く前に必ず事前準備をお願いします。卵が届き次第、なるべく早く水槽に卵を移して下さい。（到着後、“すぐに”が理想です。孵化率に大きく影響します。）

尚、鮭の卵のお届け日は12月3日（木）を予定しています。

飼育用具は必ず、同じ物でなくても構いませんので、その際には代用品をご準備ください。



大きめの水槽を準備して下さい。  
参考：写真の水槽サイズ  
（縦約30センチ・横約60センチ・深さ約35センチ）

《水槽に必要な装備品》

◇必須品

- ・ブクブク酸素機
- ・濾過器
- ・砂利※必ず入れて下さい。

◇おすすめ品

- ・水流器



水槽に入れるお水ですが、水道水を直接入れるのは絶対にNG！！（水道水の塩素で死んでしまいます）

できれば1日以上、日の当たる場所に水を貯め、カルキ抜きを行って下さい。

※ホームセンター等でカルキ抜きも販売されています。オススメは自然の汲み置き水です。（薬剤使用の場合、水の中和が足りずに死んでしまうこともあるため）

◇初音丘幼稚園では屋外のドラム缶に水を貯めて使用しています。



水槽の底に小さな砂利を敷き詰めて下さい。  
準備済みの水槽に、届いた卵を直ぐに入れて下さい。  
**※時間が経過すると孵化率は大幅に低下します。**  
**※砂利設置は大変おススメです。**なるべく自然に近い状態を作ることによってストレスを軽減します。また、ゴミが水中に舞うことを防ぐ役割もあり、衛生的です。

水槽は日の当たらない涼しいところに設置して下さい。  
鮭は冷たい水流で育ちますので、水温は15℃以下が目安となります。寒さには強いので屋外でも大丈夫です。

# 元気いっぱい！大きな稚魚を孵化させよう！！ ～ ここがポイント！！ ～

## ～ 絶対に孵化させるぞ！！ ここがポイント！！ 3箇条 ～



### ☆その壱☆ 2日に1回は水槽の水を替えよう！！★一番大切です！！

鮭の稚魚はとっても、きれい好きです。透き通ったきれいな水で育ててください。

水を替える際には、ひしゃくや、ポンプを使って半分くらいの水を抜き、1日お日様にあてた水を足して下さい。

※絶対に水道水を直接水槽に入れてはいけません！！

※ホームセンター等でカルキ抜きが販売されていますがオススメはしません。(理由は前述の通り)

水温にも注意し、日の当たらない涼しい場所で、水温は15℃以下が目安となります。

★砂利を敷き詰めることで、水が濁りにくくなります！！ぜひ、入れて下さいね。



### ☆その弐☆ 餌の食べ残しや糞など、ゴミは取り除こう！！

身体の小さな稚魚には水槽の中の小さなゴミは天敵です。なぜなら、ゴミがエラに詰まり、窒息してしまうからです。

できたら毎日、浮いているゴミ、沈んでいるゴミもこまめに掃除して下さい。(赤ちゃんのお世話です)



### ☆その参☆ とにかく愛情を注いであげよう！！

鮭の稚魚はとってもデリケートです。毎日、愛情を注いで可愛がってあげてください。

水槽を叩いたり、飼育場所を変えて(休みの期間に家に持ち帰り飼育をするなど)飼育をすると、稚魚にストレスが掛かり死んでしまうこともあります・・・

どうしても飼育場所を移動する際には、移動時のポンプの準備、移動先の受け入れ準備を念入りに検討して下さい。

# 元気いっぱい！大きな稚魚を孵化させよう！！ ～ 飼育用具の紹介～

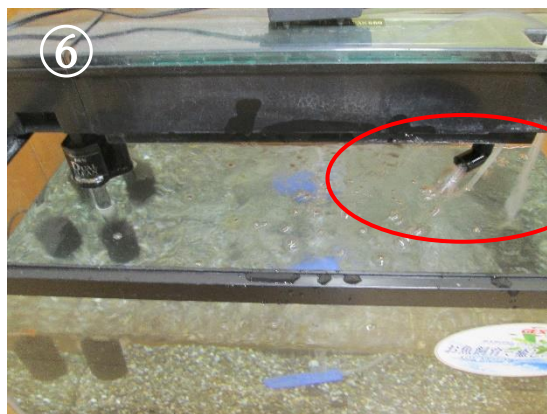
こんなものがあると便利です！！初音丘学園で使っている用具を紹介させていただきます。



- ① ひしゃく  
水槽の水を替えるときに使っています。
- ② 長いスプーン  
死んでしまった卵は、スプーンを使ってすくい取っています。  
ヨーグルト用のプラスチックスプーンを、長い棒にくくりつけています。
- ③ 小さい網  
ゴミや死んでしまった稚魚をすくい取っています。  
柄の部分にプラスチックの板をつけてあり、砂利をならす時に使っています。
- ④ 大きい網  
ゴミをすくい取る時に使います。
- ⑤ ポンプ  
水を替える際に使っています。  
砂利に沈んだゴミを掃除することも出来ます。

## ☆ポイント！

吸い上げる際に稚魚も吸い込まないように、ポンプの先端に網を掛けています。  
ペットボトルの先端を切り、切り口に網を付けて、ホースに繋いでも  
代用出来ます。※イメージ写真が無くてすみません・・・



- ⑥ 水槽はブクブク酸素機と、水流器のある容器が必要です。鮭は清流で育つ魚です。清き水と流れが必要です。

# 元気いっぱい！大きな稚魚を孵化させよう！！ ～ 孵化までの流れ ～

鮭の卵の到着は令和2年12月3日（木）になります。

鮭の卵が到着する前に水槽に汲み置きした水を入れ、ブクブク水流器を動かしておきます。卵が届いたらすぐに水槽に入れてください。

10日ぐらいたつと卵の中の目玉が動き始めます。受精卵は透き通ったピンク色で黒い目玉があります。真っ白な卵は死んでいますので、**取り除いてください。**

※そのままにしていると周りの卵に感染してしまいます。

20日ぐらいたつと孵化します。お腹に栄養たっぷりの袋を持っていて、その栄養で育っていきます。（仔魚と言います。）  
お腹に袋を持った仔魚は、栄養分の袋が無くなるまで泳ぎません。（餌はまだ与えないでください。）水槽の水をまだ取り替える必要はありません。



やがて、栄養袋が小さくなり無くなると砂利底にいた仔魚が水槽の上のほうに泳ぎ始めます。（稚魚になりました。）

鮭の飼育は3ヶ月で4センチ～5センチです。大きくなるにつれて餌をいっぱい食べます。エサはたくさんお渡しできる予定ですが、万が一、事前に配布した餌が無くなりましたら、淡水魚用の餌を与えていただければと思います。

事前の水槽準備が最初のカギとなります。卵から目が動き、稚魚になり過程は言葉では表せない感動があります。なにかご不明点などありましたら初音丘学園までご質問ください。よろしくごお願い致します。